

# **2004 年 IEEE 東京支部 総会資料**

**2004 年 3 月 2 日  
IEEE 東京支部**

<http://www.ieee.org/regional/section/tokyo>

## 2004 年 IEEE 東京支部総会

### 総 会

日 時： 2004 年 3 月 2 日（火） 14 時 00 分～15 時 30 分

場 所： 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館 4 階 「萩の間」

議 事：

1. 開会の挨拶
2. 役員の紹介
3. 支部長挨拶
4. 2003 年活動報告
5. 2003 年会計報告
6. 2004 年活動計画報告
7. 2004 年予算案承認
8. 2004 年新 Fellow 紹介および表彰式
9. 閉会の挨拶

### 講 演 会

日 時： 2004 年 3 月 2 日（火） 16 時 00 分～17 時 00 分

場 所： 同 上

講演者： 伊賀 健一 氏（日本学術振興会 理事）  
---2003 年 IEEE Daniel E. Noble Award 受賞者---

演 題： 「面発光レーザ - 超並列フォトニクス之夜明け - 」

### 懇 親 会

日 時： 2004 年 3 月 2 日（火） 17 時 00 分～18 時 30 分

場 所： 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館 4 階 「蘭-東の間」

2003/2004年IEEE東京支部役員・理事

1. 役員

Chair	支部長	安田 靖彦	(早稲田大学)
Vice Chair	副支部長	村上 仁己	(KDDI)
Secretary	セル列	松島 裕一	(通信総合研究所)
Treasurer	トジヤラ	瀬崎 薫	(東京大学)

2. 理事会メンバー

安田 靖彦	(早稲田大学)	中嶋 信生	(電気通信大学)
村上 仁己	(KDDI)	小林 隆夫	(東京工業大学)
松島 裕一	(通信総合研究所)	佐々木勝朗	(日立超LSIシステムズ)
瀬崎 薫	(東京大学)	太田 直久	(ソニー)
茅 陽一	(地球環境産業技術研究機構)	山名 早人	(早稲田大学)
橋本 周司	(早稲田大学)	林 秀樹	(住友電気工業)
小林 功郎	(東京工業大学)	小柳 恵一	(早稲田大学)
佐久間 進	(ビスカス)	堀 洋一	(東京大学)
新藤 孝敏	(電力中央研究所)	竹内 精一	(東京電機大学)
西原 明法	(東京工業大学)		

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	橋本 周司 (早稲田大学)	佐藤 誠 (東京工業大学)	ハルトノ、ピトヨ (早稲田大学)
Fellow Nomintions	小林 功郎 (東京工業大学)	秋葉 重幸 (KDDI海底ケーブル)	-
Membership Developmen	佐久間 進 (ビスカス)	小田 哲治 (東京大学)	山之内 宏 (ビスカス)
Nominations	新藤 孝敏 (電力中央研究所)	金子 正秀 (電気通信大学)	熊野 照久 (電力中央研究所)
Technical Program	中嶋 信生 (電気通信大学)	諏訪 敬祐 (武蔵工業大学)	太田 和夫 (電気通信大学)
Publications	村上 仁己 (KDDI)	松島 裕一 (通信総合研究所)	中村 元 (KDDI研究所)
Student Activities	小林 隆夫 (東京工業大学)	長尾 智晴 (横浜国立大学)	杉野 暢彦 (東京工業大学)

## 2003 年活動報告

### 1. 支部総会

2003 年 3 月 11 日、午後 2 時 30 分から新宿 N S ホールにおいて開催された。総会に引き続き 2003 年新 Fellow の表彰式および講演会が行われた。

### 2. 支部理事会

第 1 回 3 月 11 日 新宿 N S ホール 出席者 14 名

- ・ 2002 年決算報告/監査報告
- ・ 2003 年予算案の承認
- ・ 2003 年総会資料審議
- ・ 支部推薦 2004 年 Fellow 候補者
- ・ IEEE Milestone 推薦候補
- ・ IEEE 組織について

第 2 回 6 月 20 日 KDDI 飯田橋本社ビル 29 階 N 会議室 出席者 14 名

- ・ 2003 年東京支部リベート
- ・ Boston 支部との姉妹支部関係について
- ・ 第 1 回 Japan Council 理事会の報告
- ・ Region 10 関係報告
- ・ Fellow 支部推薦の方法について
- ・ Senior Member 増強について
- ・ 会員への情報配信について

第 3 回 10 月 3 日 KDDI 飯田橋本社ビル 28 階 プレゼンテーションルーム

出席者 11 名

- ・ 東京支部事務局の賃借契約について
- ・ 8 月末会計報告
- ・ フェロー・ノミネーションのお願い状発送報告
- ・ Senior Member の組織的増強方策
- ・ 第 2 回 Japan Council 理事会の報告

第 4 回 12 月 5 日 KDDI 飯田橋本社ビル 28 階 プレゼンテーションルーム

出席者 8 名

- ・ 2003 年活動報告および 2004 年活動計画案
- ・ 東京支部事務局の賃貸借契約について
- ・ 2003 年決算予想および 2004 年予算案
- ・ Region 10 Meeting 参加報告
- ・ ボストン支部との協力関係について

### 3. 支部主催・共催講演会

第 1 回 3 月 11 日 新宿 N S ホール 参加者 53 名

「Insight for the New Paradigm - 未来のしくみを、IT でつくる - 」

青木 利晴 氏 (NTT データ 社長)

(2002 年 IEEE Frederik Philips Award 受賞者)

第2回 10月8日 学士会分館 参加者 68名

「Number Theory in Science, Engineering, and Art

(科学・工学・芸術と整数論)」

Manfred R. Schroeder 氏 (ドイツ Goettingen 大学 名誉教授)

第3回 11月6日 工学院大学新宿キャンパス 参加者 124名

「タンジブル・ビット：情報の感触・情報の気配」

石井 裕 氏 (マサチューセッツ工科大学教授)

#### 4. その他の会合

- (1) 「新 Fellow を囲む懇親会」 3月11日  
会場：新宿ワシントンホテル新館 3階  
参加者：2003年新 Fellow、支部理事、他 計 54名
- (2) 「IEEE Computer Society 会長 Diamond 氏との会談」 3月27日  
会場：KDDI 新宿本社ビル 応接室  
参加者：Society 側 - Computer Society 会長他 3名  
支部側 - 安田支部長他 4名
- (3) 「2004年 IEEE 会長 Winston 氏来日講演会および懇親会」7月4日  
会場：KDDI 飯田橋本社ビル プレゼンテーションルーム  
参加者：17名
- (4) 「2003年 Region 10 Meeting」 10月11-12日 ペナン、マレーシア  
参加者：Region 10 役員、各 Section 代表、Council 代表等 計 77名  
東京支部出席者：安田支部長、村上副支部長

#### 5. 常設委員会の活動

##### ・ Chapter Promotion Committee

Japan Council の Chapter Operations Committee が主催する年2回の Chapter 運営会議の開催(6月30日/11月19日)に協力し、Chapter 運営、Chapter 支援等に関する審議に参加した。

##### ・ Fellow Nominations Committee

Tokyo Bulletin および東京支部ホームページを利用して7月から Fellow 推薦に関する広報活動を開始した。2004年推薦から始まる推薦手続きの完全 ONLINE 化に対応して、推薦方法を日本語に翻訳しホームページに掲載した。また、支部推薦者の選考方法の改訂を提案し、9月末に新書式によるフェロー推薦の依頼状を、各 Chapter Chair、支部理事および現 Fellow に発送し、支部推薦候補者を選出した。

- **Membership Development Committee**

会員数の拡大を図るために、講演会等において入会案内書を配布し、入会希望を受け付けるなど会員増に努めた。Senior Member 数の増強を図るための施策を検討した。その一環として、会員数の多い企業・機関に対して組織的な協力をお願いすることとし、昇格申請の方法、資格など Senior Member に関する広報に努めた。

- **Technical Program Committee**

上記 3. 項に示す 3 回の講演会を企画実行した。

- **Publications Committee**

会員への情報サービスとして、"IEEE Tokyo Bulletin"を 5 回発行し、Email、FAX およびハガキにて東京支部の全会員に配送すると共に、支部のホームページに掲載し Internet 上にも公開した。また、会員への情報が適切に配信できるように、会員メーリングリストの運用に関するガイドラインを設けた。

- **Student Activities Committee**

Japan Council の Student Activities Committee が 10 月 31 日、山口大学にて開催した Student Branch Leadership Training Workshop に協力し、東京支部所属の各ブランチからの参加を呼びかけた。なお、ワークショップへは全国から教官を含め 33 名の参加があった。

## 6. ボストン支部との交流

11 月 13 日に IEEE ボストン支部の Bruce Hecht 支部長と東京にて会談し、来年の交流活動の基本的な考え方を話し合った。基本的には学生の交流をメインな活動とし、今後、Student Activities Committee を中心として具体的な交流計画を検討していくことになった。

## 会員の状況

### 1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1998	6,527		1	250	395	5,009	630	242
1999	6,693	2.54	0	255	410	5,097	689	242
2000	6,961	3.85	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	0.26	2	308	429	5,595	587	397

略号： HM: Honorary Member      F: Fellow      SM: Senior Member  
M: Member      A: Associate      St: Student

### 2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50							
1965	694	4.20	1	10	110	333	98	142
1970	1,179	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1991	7,036	5.80	2	212	486	5,514	606	216
1992	7,439	5.73	2	222	522	5,832	633	228
1993	7,926	6.55	2	247	542	6,206	660	269
1994	8,345	5.29	1	267	548	6,374	714	441
1995	8,892	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
1996	9,186	3.31	2	305	577	7,000	896	406
1997	9,454	2.92	2	335	582	7,221	918	396
1998	10,010	5.88	2	360	591	7,640	913	504
1999	10,375	3.65	1	370	619	7,862	1,004	519
2000	10,867	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	1.32	3	453	665	8,981	856	895

注：Affiliate会員は含まない。

### 3 . Society 会員数

2003年12月末データ

( )内は全国の会員数

Society名	Code	会員数
Signal Processing	SP -01	509 ( 923 )
Broadcast Technology	BT -02	51 ( 65 )
Antennas and Propagation	AP -03	330 ( 525 )
Circuits and Systems	CAS -04	464 ( 841 )
Nuclear and Plasma Sciences	NPS -05	88 ( 164 )
Vehicular Technology	VT -06	249 ( 345 )
Reliability	R -07	75 ( 111 )
Consumer Electronics	CE -08	109 ( 152 )
Instrumentation and Measurement	IM -09	119 ( 201 )
Aerospace and Electronic Systems	AES -10	100 ( 142 )
Neural Networks Society	NNS -11	220 ( 492 )
Information Theory	IT -12	216 ( 351 )
Industrial Electronics	IE -13	159 ( 288 )
Engineering Management	EM -14	84 ( 116 )
Electron Devices	ED -15	798 ( 1,185 )
Computer	C -16	1,747 ( 2,831 )
Microwave Theory and Techniques	MTT -17	472 ( 801 )
Engineering in Medicine and Biology	EMB -18	223 ( 419 )
Communications	COM -19	1,480 ( 2,012 )
Ultrasonics, Ferroelectrics, and Frequency Control	UFFC -20	118 ( 209 )
Components, Packaging, and Manufacturing Technology	CPMT -21	146 ( 217 )
Oceanic Engineering	OE -22	45 ( 71 )
Control Systems	CS -23	255 ( 538 )
Robotics and Automation	RA -24	275 ( 556 )
Education	E -25	65 ( 120 )
Professional Communications	PC -26	16 ( 30 )
Electromagnetic Compatibility	EMC -27	135 ( 245 )
Systems, Man, and Cybernetics	SMC -28	225 ( 494 )
Geoscience and Remote Sensing	GRS -29	87 ( 153 )
Social Implications of Technology	SIT -30	29 ( 43 )
Power Engineering	PE -31	298 ( 495 )
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI -32	78 ( 149 )
Magnetics	MAG -33	193 ( 373 )
Industry Applications	IA -34	180 ( 320 )
Power Electronics	PEL -35	163 ( 280 )
Lasers and Electro-Optics	LEO -36	546 ( 817 )
Solid-State Circuits	SSC -37	583 ( 884 )
*Product Safety Engineering	PSE -43	2 ( 3 )
<b>Total</b>		<b>10,932 ( 17,961 )</b>

注)Affiliate会員は含まない。

\* 新設Society



## 2003年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1～12/31)	決 算 (1/1～12/31)	備 考
<b>収入の部</b>			
IEEE 本部勘定	18,942,000	20,443,554	予算ではUS\$ 1 = ¥110を適用
・支部リベート	3,080,000	3,326,765	US \$28,312.90 @¥117.50
・Section Assessment	15,840,000	17,042,529	前期分：US \$140,555.90 @¥117.12 後期分：US \$5,073.15 @¥114.45
・その他	22,000	74,260	SM報奨金 US \$250 @¥117.50 Student Subsidy US \$382 @¥117.50
雑収入	5,000	603,080	受取利息/JCからの事務所賃借料等の供託金を含む
前年度繰越金	13,510,214	13,510,214	
積立金取崩			
・事務局設備基金取崩	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	
合 計	32,457,214	34,556,848	
<b>支出の部</b>			
Councilへの拠出金	15,840,000	17,040,029	Section Assessment全額
会合費	2,050,000	985,847	
・総会費	700,000	513,467	資料印刷代/懇親会費用を含む
・講演会費	250,000	124,657	会場費/謝礼金等
・理事会費	100,000	86,912	
・その他会合費	1,000,000	260,811	姉妹支部関連の旅費を含む
Committee活動費	1,000,000	755,106	Tokyo Bulletin発行費/講演会案内状等
Student Branch支援費	500,000	155,756	Student Paper Contest賞金/SAC Workshop参加旅費
事務局設備費	400,000	127,449	パソコンリース料
通信費	200,000	154,665	Internet通信費等
支払手数料等	200,000	206,656	銀行手数料/前年度会計監査費用等
予備費	1,500,000	0	
積立金繰入	500,000	501,601	
・事務局設備基金繰入	-	-	
・為替変動準備金繰入	500,000	500,000	
・定期預金利息	-	1,601	
次年度繰越金	10,267,214	14,629,739	
合 計	32,457,214	34,556,848	

# 財産目録

単位：日本円

科 目	2003年12月31日	2002年12月31日
<b>Balance Sheet</b>		
<b>I. 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金	20,000	20,000
普通預金	14,609,739	13,490,214
定期預金	16,198,001	15,696,400
現金・預金合計	30,827,740	29,206,614
その他流動資産	0	0
流動資産合計：	30,827,740	29,206,614
2. 固定資産		
事務所賃借保証金(A)	0	1,628,800
電話加入権	218,400	218,400
機器および備品	3,383,625	3,383,625
減価償却累計額	(3,044,963)	(2,706,301)
固定資産合計：	557,062	2,524,524
資産合計：	31,384,802	31,731,138
<b>II. 負債および純資産の部</b>		
1. 流動負債		
	0	0
2. 固定負債		
	0	0
負債合計：	0	0
3. 正味財産		
負債および正味財産合計：	31,384,802	31,731,138
<b>Statement of Activities</b>		
<b>I. 収益の部</b>		
支部リベート	3,326,765	3,560,877
Section Assessment	17,042,529	18,657,147
その他(SM報奨金、Student Subsidy)	74,260	47,451
受取利息	2,004	4,990
雑収入(B)	601,076	-
収益合計：	21,046,634	22,270,465
<b>費用の部</b>		
会合費	1,293,482	1,351,325
Publication Expenses	447,471	628,014
Student Branch支援費	155,756	309,620
Japan Councilへの拠出金	17,040,029	18,657,147
事務局費および一般管理費	2,117,570	474,713
減価償却費	338,662	338,662
費用合計：	21,392,970	21,759,481
正味財産増減額	(346,336)	510,984
期首正味財産	31,731,138	31,220,154
期末正味財産	31,384,802	31,731,138
<b>Statement of Cash Flows</b>		
<b>I. 収入の部</b>		
支部リベート	3,326,765	3,560,877
Section Assessment	17,042,529	18,657,147
その他(SM報奨金、Student Subsidy)	74,260	47,451
受取利息	2,004	4,990
雑収入(B)	601,076	-
収入合計：	21,046,634	22,270,465
<b>支出の部</b>		
会合費	1,293,482	1,351,325
Publication Expenses	447,471	628,014
Student Branch支援費	155,756	309,620
Japan Councilへの拠出金	17,040,029	18,657,147
事務局費および一般管理費	488,770	474,713
固定資産等購入	0	0
支出合計：	19,425,508	21,420,819
現金・預金増減額	1,621,126	849,646
期首現金・預金残高	29,206,614	28,356,968
期末現金・預金残高	30,827,740	29,206,614

(A) 東京支部事務局のあるビルが競売となり、事務所賃借保証金の回収が不可能となる。

(B) Japan Councilとの「事務所賃借料の供託契約書」に基づく供託金。

## 【参考資料】

## 2003年IEEE Japan Council会計報告(案)

単位：日本円

	予 算 (1/1～12/31)	決 算 (1/1～12/31)	備 考
<b>収入の部</b>			
IEEE 本部勘定	740,520	785,961	予算ではUS\$1=¥110を適用
・ Chapter Rebate	740,520	785,961	US\$6,732.00@¥116.75
各支部よりの拠出金	24,530,000	27,154,136	US\$231,891.32平均@¥115.85
・ 札幌支部		425,979	前期分:US\$3,642.41@¥116.95 (後期分:US\$116.23 次年度前期に請求)
・ 仙台支部		1,168,747	前期分:US\$9,745.23@¥119.93 (後期分:US\$425.65 次年度前期に請求)
・ 東京支部		16,461,907	前期分:US\$140,555.90@¥117.12
		580,622	後期分:US\$5,073.15@¥114.45
・ 名古屋支部		1,866,823	前期分:US\$15,962.58@¥116.95
		66,533	後期分:US\$596.71@¥111.50
・ 関西支部		3,763,119	前期分:US\$32,040.18@¥117.45
		163,700	後期分:US\$1,430.32@¥114.45
・ 広島支部		837,088	前期分:US\$7,127.19@¥117.45 (後期分:US\$254.23 次年度前期に請求)
・ 四国支部		309,091	前期分:US\$2,631.69@¥117.45 (後期分:US\$116.23 次年度前期に請求)
・ 福岡支部		1,180,833	前期分:US\$10,066.78@¥117.30
		329,694	後期分:US\$3,019.18@¥109.20
雑収入	1,500	841	受取利息
前年度繰越金	18,135,091	18,135,091	
合 計	43,407,111	46,076,029	
<b>支出の部</b>			
事務局費	15,370,000	14,588,280	
・ 給料諸給	10,400,000	10,424,334	交通費/労働保険/所得税を含む
・ 臨時雇費	-	-	
・ 事務所賃借料	2,500,000	2,278,548	東京支部への事務所賃借料等の供託金を含む
・ 事務所設備費用	400,000	110,769	
・ 通信費	500,000	484,017	情報配信(FAX版)の費用を含む
・ 交通費	150,000	143,590	
・ 事務用品費	100,000	83,071	
・ 事務機器レンタル費	1,000,000	787,751	コピー機/ファックス機/パソコン、コピー機-使用料等
・ 支払手数料等	320,000	276,200	銀行手数料/前年度会計監査費用等
会合費	2,000,000	2,425,150	
・ 理事会・各委員会費	1,500,000	1,735,158	参加旅費を含む
・ その他会合費	500,000	689,992	会長来日懇親会費用/札幌支部との交流費用を含む
Section支援費	2,500,000	1,041,100	札幌、仙台、広島、四国、福岡各支部
Chapter支援費	6,000,000	5,405,181	Chapter Rebateを含む
Student Branch支援費	1,500,000	614,508	SAC Workshop開催費用・参加旅費/近畿SB交流会費用
予備費	2,000,000	814,400	事務所賃借保証金
次年度繰越金	14,037,111	21,187,410	
合 計	43,407,111	46,076,029	

## 2004 年活動計画

### 1. ボストン支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部との姉妹支部協定、ならびに 2003 年 11 月に行なったボストン支部長との予備会合を踏まえ、最初の具体的活動として両支部学生間の交流を実現する。さらに、姉妹関係のメリットを他支部にも波及させ、日本全体の IEEE 活動の活性化につながるよう検討を進める。

### 2. Japan Council 運営の支援

他支部（全国で 8 支部）との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部のセクレタリおよびトレジャラは Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

### 3. Student Branch 活動支援

2004 年 1 月末現在、東京支部（関東・甲信越地方）では、東大、東工大、慶大、横浜国大、の 4 校に IEEE 学生ブランチが設置されている。日本全国では 14 の学生ブランチ（北大、東北大、静岡大、阪大、京大、立命館大、奈良先端科学技術大、熊本大、山口大、香川大が上記に加わる）があり、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。Region 10 の学生活動への積極参加を呼びかける、ブランチ活動の経済的支援、などを通じて活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。

ボストン支部との姉妹支部協定を踏まえて、ボストン支部管内のブランチとの交流を具体化させる。

### 4. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、会員サービスおよび広報活動を強化する。また、Senior Member の全会員数に対する比率（5.9%）を世界平均の 7.2% に引き上げることが目標に、組織的な働きかけ、広報活動などを通じて Senior Member 会員を増やしていく。

[参考] 2001 年末 7200 人（前年比 3.4%増）（全日本：11380 人 4.7%増）

2002 年末 7299 人（前年比 1.4%増）（全日本：11699 人 2.8%増）

2003 年末 7318 人（前年比 0.3%増）（全日本：11853 人 1.3%増）

### 5. 会員への情報提供

Publications Committee が発行する“IEEE Tokyo Bulletin”（日本語、英語）の充実を図る。情報配信システムを利用して、タイムリーな情報を Email にて直

接会員へ届ける。

## 6. 役員選挙の実施

2005/2006 年の支部役員および理事の選出を行う。Nominations Committee の候補者指名に基づき、全会員に候補者を公告し追加指名を募り、複数候補者の擁立がある場合は、会員による選挙を実施する。

## 7. 委員会活動

下記の従来活動を継続すると共に、一層の充実を図る。

### 東京支部講演会の開催

多くの会員に参加してもらえるように、広範囲な分野の講演会を企画し、開催回数を増やす。

### IEEE Fellow の推薦支援

推薦支援の強化をはかり Fellow 数を増やす。

### 会員数の増強

活発な広報活動を展開し、会員増を図る。

### “Tokyo Bulletin” の発行

内容の充実に努める。

## 2004年予算案

単位：日本円

	2004年予算案 (1/1～12/31)	備 考
収入の部		
IEEE 本部勘定	17,951,561	US\$1=¥103を使用
・ 支部レポート	2,884,000	US\$28,000(Gross)を想定
・ Section Assessment	15,007,100	US\$145,700(Gross)を想定
・ その他	60,461	Senior Member報奨金等
雑収入	2,000	受取利息等
前年度繰越金	14,629,739	
積立金取崩		
・ 事務局設備基金取崩	-	
・ 為替変動準備金取崩	-	
合 計	32,583,300	
支出の部		
Councilへの拠出金	15,007,100	Section Assessment全額
会合費	2,200,000	
・ 総会費	700,000	資料印刷代/懇親会費を含む
・ 講演会費	250,000	会場費/謝礼金を含む
・ 理事会費	250,000	
・ その他会合費	1,000,000	姉妹支部関連の旅費を含む
Committee活動費	1,000,000	Tokyo Bulletin発行費/講演会案内状等
Student Branch支援費	1,000,000	姉妹支部交流費/Paper Contest賞金/SAC Workshop
事務局設備費	550,000	
通信費	350,000	Internet通信費等
支払手数料等	250,000	銀行手数料/前年度監査費用等
予備費	1,500,000	
積立金繰入	500,000	
・ 事務局設備基金繰入	-	
・ 為替変動準備金繰入	500,000	
次年度繰越金	10,226,200	
合 計	32,583,300	

2004年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	秋田 調 Akita, Shirabe	電力中央 研究所	<i>For contributions in applied superconductivity in support of electric power applications.</i>
2	東京	伊庭 健二 Iba, Kenji	都立航空高 専	<i>For contributions to the control and planning technology of voltage/reactive power.</i>
3	東京	池田 修二 Ikeda, Shuji	トクセンイー テクノロジーズ	<i>For contributions to the development and manufacturing of static random access memory.</i>
4	東京	石井 勝 Ishii, Masaru	東京大学	<i>For contributions to improvement of lighting performance of power lines and to the standardization of the measurement of lightning impulse voltages.</i>
5	東京	石川 元 Ishikawa, Hajime	富士通 研究所	<i>For technical leadership in the development of high-performance Si and GaAs devices and circuits.</i>
6	東京	井筒 雅之 Izutsu, Masayuki	通信総合 研究所	<i>For contributions to integrated optics and broadband guided-wave light modulators.</i>
7	東京	持田 侑宏 Mochida, Yukou	富士通 研究所	<i>For contributions to the development and deployment of digital transport systems.</i>
8	東京	難波 誠一 Namba, Seiichi	NHKインテグ ラティブ	<i>For contributions to integrated digital broadcasting systems.</i>
9	東京	須藤 俊夫 Sudo, Toshio	東芝	<i>For contributions to high-density packaging.</i>
10	東京	谷江 和雄 Tanie, Kazuo	産業技術総 合研究所	<i>For contributions to humanoid and human friendly robotics.</i>
11	東京	内海 要三 Utsumi, Yozo	防衛大学校	<i>For leadership in microwave circuit technology for direct broadcast satellite and high definition television.</i>

他支部所属新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	仙台	Ryzhii, Victor	会津大学	<i>For contributions to the development to the quantum well infrared photodetectors and quantum dot infrared photodetectors.</i>
2	仙台	行松 健一 Yukimatsu, Ken-ichi	秋田大学	<i>For contributions to photonic switching technologies and system.</i>
3	名古屋	澤木 宣彦 Sawaki, Nobuhiko	名古屋大学	<i>For contributions to the development of group III-nitride semiconductor materials and devices.</i>

4	関西	大平 孝 Ohira, Takashi	A T R	<i>For contributions to variable microwave signal processing circuits and antennas.</i>
5	関西	管村 昇 Sugamura, Noboru	N T T	<i>For contributions to speech compression and speech recognition.</i>
6	関西	高森 年 Takamori, Toshi	神戸大学	<i>For contributions to robotic and mechatronic systems.</i>
7	関西	中村 行宏 Nakamura, Yukihiro	京都大学	<i>For contributions to very large scale integration synthesis methodologies.</i>
8	関西	藤岡 弘 Fujioka, Hiromu	大阪大学	<i>For contributions to electron beam testing of semiconductor devices and circuits.</i>
9	関西	牧野 昭二 Makino, Shoji	N T T	<i>For contributions to adaptive filtering technologies and the realization of acoustic echo cancellation.</i>
10	関西	吉野 勝美 Yoshino, Katsumi	大阪大学	<i>For contributions to organal electronic and optoelectronic materials.</i>
11	関西	山本 誠一 Yamamoto, Seiichi	A T R	<i>For leadership in the development of spoken language communication systems.</i>
12	関西	村上 孝三 Murakami, Koso	大阪大学	<i>For contributions to switching technologies and systems for broadband communications networks.</i>
13	関西	池田 雅夫 Ikeda, Masao	大阪大学	<i>For contributions to the theory of large scale systems and decentralized control.</i>
14	関西	野澤 博 Nozawa, Hiroshi	京都大学	<i>For contributions to nonvolatile semiconductor memories.</i>
15	四国	富沢 治 Tomisawa, Osamu	高知工科大学	<i>For contributions to low power, high speed integrated circuits.</i>

## 2004年IEEE Medal受賞決定

### ・ IEEE Medal of Honor

関本 忠弘 氏 (NEC元会長)

*For contributions to digital satellite communications, promotion of information technology R&D, and technical and corporate leadership in computers and communications.*



**The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.  
Tokyo Section Bylaws**

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

**Article I - Name and Territory**

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto and Koh-Shinetsu districts in Japan with postal codes starting 100 through 409 and 940 through 959. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

**Article II - Officers**

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

**Article III - Standing Committees**

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
  - Chapter Promotion
  - Fellow Nominations
  - Membership Development
  - Nominations
  - Technical Program
  - Publications
  - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.

3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

**Article IV - Management**

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

**Article V - Nomination and Election of Officers**

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

**Article VI - Business Meeting**

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

**Article VII - Finances**

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

**Article VIII - Amendments**

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ( $\frac{2}{3}$ ) majority vote of the Section Executive Committee.
3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-----

- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 22 May 2001. The RAB approved the revision on 04 June 2001.

## 事務所所在地

〒105-0003 東京都港区西新橋 3丁目 6番 2号 西新橋企画ビル 8階

TEL 03-5776-7670

FAX 03-5401-3850

Email: sec.tokyo@ieee.org ieee@infoweb.ne.jp

## 交通

- ・ JR 新橋駅 烏森口から徒歩 10 分
- ・ 地下鉄都営三田線 内幸町駅から徒歩 6 分

